

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年10月3日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		8月の価格動向		9月の価格動向			生育及び価格の１０月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			
					下旬	上旬		
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	69	74.19	68	78	・入荷見込量：14,302t (100) ・主産地：群馬(59)、千葉(16)、岩手(9)、茨城(4)	・群馬産は降雨の影響で一部病害が発生していたが、気温の低下とともに減少しており、安定した出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産の生育は順調で、下旬から出荷開始の見込み。 ・順調な出荷が見込まれるが、レタスの代替需要が見込まれることから、価格は平年より若干高めに推移する見込み。
		93.59	76	93.59	71	83	・入荷見込量：3,400t (104) ・主産地：群馬(49)、長野(31)、茨城(6)	
	ねぎ (関東：白ねぎ、 関西：青ねぎ)	273.33	342	273.33	245	305	・入荷見込数量：5,404t (103) ・主産地：青森(27)、秋田(14)、新潟(11)、山形(10)、北海道(10)、岩手(5)、茨城(5)、輸入(5)	・青森産、秋田産ともに稲刈りの作業を優先することから、上旬までは少なめの出荷量で推移する見込み。中旬からは出荷量は増加する見込み。 ・価格は上旬までは高めに推移すると見込まれるが、中旬以降は出荷量が回復することから、価格は平年並みに近づく見込み。
		512.77	376	512.77	328	361	・入荷見込数量：210t (110) ・主産地：香川(29)、大阪(20)、徳島(17)、奈良(10)、高知(9)	
	はくさい	82.17	60	82.17	79	108	・入荷見込量：13,542t (98) ・主産地：長野(76)、茨城(11)、北海道(8)	・長野産は、降雨等の影響で病害が発生し前年より少なめの出荷量となっている。今後は徐々に出荷量が回復する見込み。茨城産の生育は順調で中旬から出荷開始となり、下旬にかけて増加する見込み。 ・価格は上旬までは高めに推移すると見込まれるが、中旬以降は出荷量が回復することから、価格は平年並みに近づく見込み。 (※トピック欄参照)
		98.58	56	98.58	82	114	・入荷見込量：5,400t (106) ・主産地：長野(94)、茨城(6)	
	ほうれんそう	583.95	692	583.95	759	752	・入荷見込量：1,584t (100) ・主産地：群馬(40)、栃木(15)、茨城(12)、千葉(9)、岩手(9)、埼玉(8)	・群馬産、栃木産ともに降雨の影響で茎が細めで少なめの出荷となっている。今後も平年より少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		670.86	677	670.86	832	915	・入荷見込量：440t (95) ・主産地：岐阜(61)、北海道(10)、和歌山(7)、徳島(7)、奈良(6)	
	レタス	166.6	213	166.6	293	290	・入荷見込量：7,838t (100) ・主産地：茨城(62)、長野(26)、栃木(6)	・長野産は8月の降雨と9月の台風の影響で病害が発生し、平年比3～4割程度の出荷量となっている。今後は平野部からの出荷となるが、少なめの出荷となる見込み。茨城産は順調な生育で中旬から本格的な出荷開始となる見込み。 ・少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		160.6	238	160.6	322	309	・入荷見込量：1,350t (106) ・主産地：長野(39)、茨城(32)、兵庫(23)	
	たまねぎ	76.15	70	76.15	76	89	・入荷見込量：9,709t (101) ・主産地：北海道(84)、輸入(4)	・北海道産は、長雨や台風により収穫作業が遅れており、10月末まで収穫作業が続く見込み。今後は貯蔵腐敗などが懸念され、出荷量は平年よりは少なめの見込み。 ・少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	72	76.15	79	90	・入荷見込量：3,800t (116) ・主産地：北海道(52)、兵庫(42)	
果 菜	きゅうり	210.69	339	210.69	306	271	・入荷見込量：5,471t (100) ・主産地：埼玉(33)、群馬(21)、茨城(14)、福島(10)、栃木(6)	・埼玉産は、台風等の降雨の影響で生育が遅れ少なめの出荷となっているが、中旬から増加する見込み。群馬産も降雨と高温の影響で前年より少なめの出荷で、今後も大きく増加することはないと見込まれることから、価格は上旬までは平年を上回って推移する見込み。
		221.71	340	221.71	327	315	・入荷見込量：1,300t (107) ・主産地：宮崎(23)、北海道(18)、福島(15)、大阪(12)、群馬(8)、愛媛(8)	
	トマト	218.58	405	218.58	389	337	・入荷見込量：5,511t (103) ・主産地：千葉(24)、茨城(17)、青森(14)、福島(8)、愛知(7)、群馬(4)	・千葉産は、日照不足、気温低下の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷となる見込。茨城産は今夏の気温の乱高下による着果不良で少なめの出荷となり、今後はやや増ながらも平年には届かない見込み。 ・出荷量が少ないと見込まれることから、価格は中旬までは平年を上回って推移する見込み。
		271.33	386	271.33	411	389	・入荷見込量：1,250t (128) ・主産地：北海道(22)、岐阜(19)、熊本(18)、石川(7)、愛知(6)、岡山(6)、愛媛(6)	
	なす	209.55	239	209.55	269	278	・入荷見込量：3,845t (98) ・主産地：高知(28)、栃木(21)、群馬(16)、茨城(15)、福岡(4)	・高知産は曇雨天と気温の低下で生育に遅れがでており、前年より少なめの出荷となっている。今後は順調な出荷となる見込み。栃木産は台風の影響により成長過程で傷が広がり実が割れるスレ果が発生し、上旬までは少なめの出荷となる見込み。 ・出荷量が少ないと見込まれることから、価格は上旬までは平年を上回って推移する見込み。
		221.72	195	221.72	252	304	・入荷見込量：690t (85) ・主産地：徳島(26)、高知(18)、京都(9)、山梨(8)、奈良(8)、岡山(7)、熊本(6)	
	ピーマン	263.58	193	263.58	238	273	・入荷見込量：1,697t (100) ・主産地：茨城(61)、岩手(15)	・茨城産は秋作の出荷となり、作柄は良好で順調な出荷となっている。岩手産は順調な出荷となっているが、ピークを過ぎ今後は徐々に減少する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		282.16	205	282.16	273	314	・入荷見込量：360t (107) ・主産地：兵庫(16)、宮崎(13)、北海道(11)、愛媛(11)、福島(10)、大分(8)、	
根 菜	だいこん	99.58	72	99.58	95	113	・入荷見込量：12,143t (98) ・北海道(39)、青森(32)、千葉(19)、岩手(5)	・北海道産は台風の影響で収穫作業の遅れなどから出荷量が減少していたが、天候の回復とともに出荷量が回復する見込み。青森産は7月の少雨により播種が遅れたため少なめの出荷となっている。 ・出荷量の回復が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。 (※トピック欄参照)
		111.54	72	111.54	103	123	・入荷見込量：4,500t (106) ・主産地：北海道(32)、石川(27)、新潟(9)、青森(6)、福岡(6)	
	にんじん	129.56	120	129.56	120	116	・入荷見込量：8,352t (103) ・主産地：北海道(89)、輸入(1)	・北海道産は生育が順調だったが、長雨、台風により病害が発生し正品率が減少している。今後は生育が回復し出荷量も増えてくる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		129.59	119	129.59	122	121	・入荷見込量：2,700t (112) ・主産地：北海道(91)、愛知(6)	

種類		8月の価格動向		9月の価格動向		生育及び価格の１０月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			下旬		上旬		中旬
いも	さといも	242.66	300	242.66	295	276	・ 千葉産は、出荷量が少なめに推移していたが、今後は降雨により出荷量が増加する見込み。埼玉産は、順調な生育、出荷となる見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		220.11	178	220.11	240	238	
	ばれいしょ	96.77	115	96.77	118	120	・ 北海道産は生育初期の低温による小玉傾向に加え、最近の長雨とその後の高温により品質が低下。今後は冠水の影響による貯蔵腐敗等が懸念される。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		96.77	107	96.77	116	108	
<div>1）平均価格は、過去９年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）。 2）旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの（消費税は除く）。 3）単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック</div> <div>1）入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（ ）内は前年対比。さといもの近畿は前年実績 2）主産地は東京都及び大阪市中心卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。 3）コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。</div>							

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、8月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,392gで対前年比104%、購入金額は、1,717円で同99%となり、購入量は前年を上回り、購入金額はほぼ前年並みとなった。

また、小売物価統計によると、9月のキャベツの小売価格は140円で過去5年平均比88%、レタスは1,034円で同214%となり、キャベツは過去5年比を下回り、レタスは大きく上回った。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	127	69	399	277	69
6月	159	106	67	360	306	85
7月	154	174	113	320	306	96
8月	170	123	72	493	351	71
9月	159	140	88	483	1,034	214
10月	158		0	474		0
11月	155		0	359		0
12月	146		0	442		0

注1：過去5か年はH18～H22の平均

注2：9月の値は、9月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年8月までの輸入量を貿易統計で見ると、生鮮野菜は前年同期比122%の62万トン、野菜輸入量全体では同112%の182万トン、うち中国は同114%の92万トンになり、引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～8月		平成23年8月
		前年比		前年比	前年同期比	前年同月比	
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	624,453	122	116
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,194,605	107	109
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	1,819,059	112	110
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	916,073	114	112
中国産シェア	50		51		50		

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.9	(B)2011.9	(B)/(A)
たまねぎ	合計	24,118	10,740	45
	中国	23,571	10,513	45
	米国	504	228	45
にんじん	合計	10,758	3,341	31
	中国	10,424	3,224	31
	オーストラリア	300	49	16
ねぎ	合計	4,378	2,173	50
	中国	4,376	2,171	50

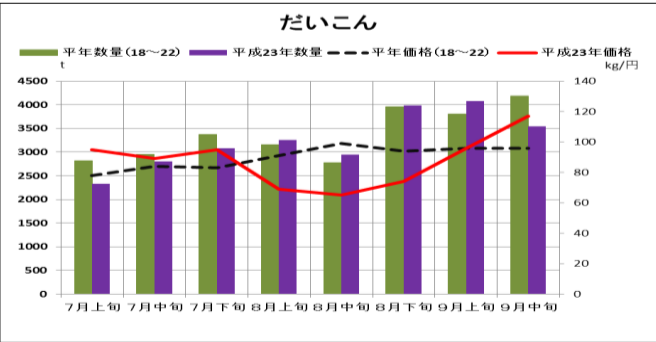
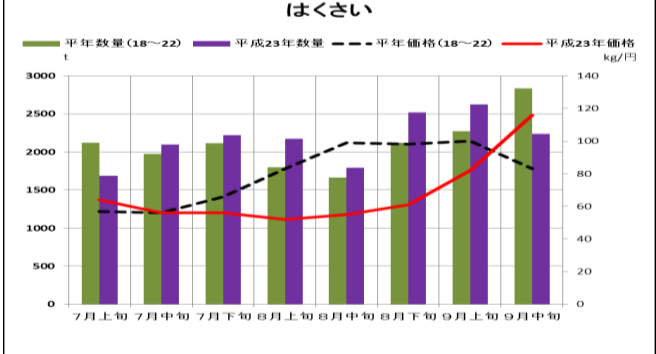
資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.9）は、9月17日までの速報値である。

4 トピック

はくさい、だいこんの価格動向について

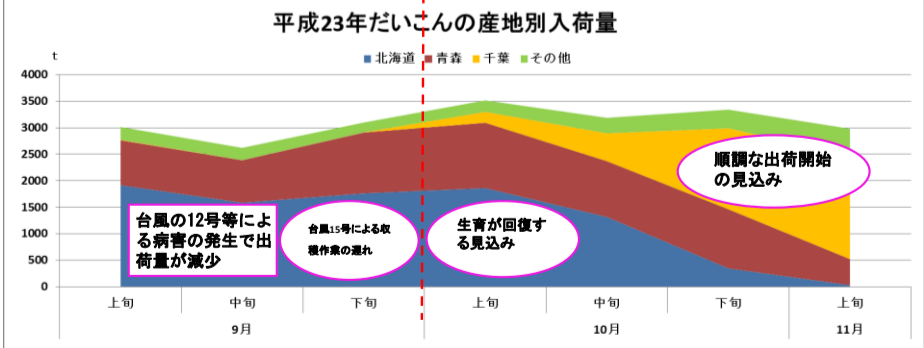
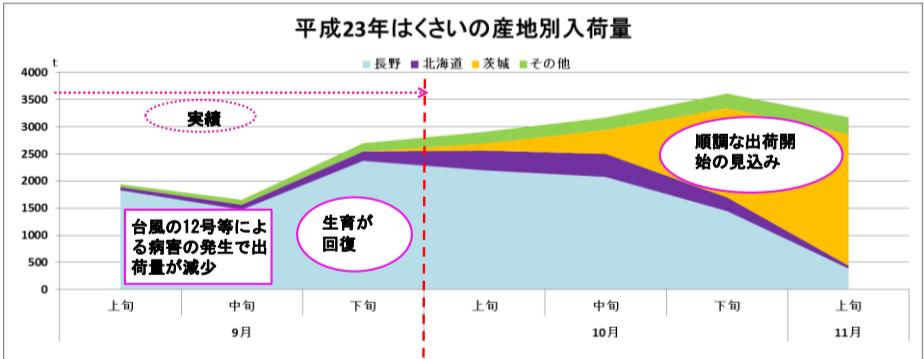
8月上旬から価格が低迷していたが、9月上旬から上昇に転じ、平年を上回る価格となっている。
これは、それぞれの主産地である長野、北海道が8月中下旬からの長雨、台風12号の降雨による病害の発生、さらには台風15号による収穫作業・輸送の遅れにより、出荷量が減少したことによる。
台風後は、生育が回復してきており、また、後続産地の茨城（はくさい）、千葉（だいこん）は台風の被害も少なく平年並みの出荷開始が見込まれることから、10月中旬以降は順調な出荷になると思われる。
一方、気温の低下とともに、はくさい、だいこんの需要は増加するが、出荷が順調となれば価格は平年並みに戻り、安定して推移するものと思われる。

はくさい、だいこんの旬別入荷量と価格の推移
（7月上旬～9月中旬）東京都中央卸売市場



資料：青果物情報センター

はくさい、だいこんの産地別入荷量の推移



資料：ベジ探（原資料）農水省「青果物日別取扱高統計結果」、青果物情報センター
23年9月までは9/20までの実績値を基に作成、10月以降は21年の実績値による。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 <http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01.000076.html>